回 覧

明科いいまち通信

明科支所・明科公民館だより

安曇野市明科中川手 6824 番地 1

明科支所：62－3001、明科公民館：62－4605

No.22

平成27年3月19日 発行

今月の区のご紹介は、

宮中区

です。

宮中区長
森田　繼雄

東山を望めば有名な川端康成、井上靖、東山魁夷の三人が絶賛した明科地域の頂上長峰山、その眼下に位置する宮中区です。宮中区でもその長峰山の草刈り整備を行っております。

国道沿い宮本の信号機東側には、秋に塔ノ原祭りとして祭典され広く周辺地域の皆さんに親しまれている犀宮社があります。犀宮社本殿は一間社流造りで江戸末期の建立と思われ、明治 35 年国鉄開通により神社境内が東西に分断され環境が損なわれてしまいました。（元の鳥居は鉄道東側に建立されていたとも言われています）その鳥居から西に犀宮社の本殿があり、犀川を挟んでその一直線上に穂高神社の本殿があります。犀宮社は、穂高神社の真東に位置し、穂高神社の拝殿的役割をしていたと言われています。「犀宮社」の言われは、慶安５年（1652 年）頃は単に「明神」としていましたが、元禄 11 年（1698 年）には「鵲ノ宮（さぎのみや)、三社大明神」と記され、鵲ノ宮という名称が使われていますが、真意は「三祇（さんぎ：三柱の神)」から出たものと思われます。犀川の治水のために祭られた社で、治水伝説もあり、そこから明治初めに「犀宮社」と名付けられたという話が残っています。

【犀宮社の祭りの珍しい赤い幟について一言】

赤い色は海神族に関係深いもので、海女は体を赤く色どって海に入るといわれ、穂高神社の尾花祭に赤い紙を飾ること等が何らかの関連があると言われています。

宮中区では７年前に 25 年ぶりに子供相撲大会が復活しました。昭和 30 年頃は塔ノ原挙げての大会であったとも言われましたが、昭和の終わり頃に中断してしまい、その大会を皆で復活させようと地元有志が集まって復活し、昨年７回目となりました。地域活性化に繋がり、お宮に子供からお年寄りの歓声が聞こえる大会になっております。今後周辺の皆さんと協働し絆が持てる大会に育てて行けますようご協力申し上げます。

犀宮社　鳥居東側より本殿を望む

宮中区子供相撲大会

新本庁舎完成にあたって(お知らせ)

新本庁舎の開庁を５月７日（木）に予定しています。

今まで分散していた本庁部門は新庁舎に集まります。今後は新本庁舎へお出かけください。

今まで		H27年５月７日より
事務所	本庁部門	本庁部門
本庁舎・県安曇野庁舎	総務部	新本庁舎 住所：安曇野市豊科 6000番地 電話：７１－２０００
	政策部	
	財政部	
	会計課、選挙管理委員会・監査委員事務局	
豊科支所	財政部の内 市民税課、資産税課、収納課	
	都市建設部	
	上下水道部	
穂高支所	市民生活部 （各支所地域課を除く）	
	保健医療部の内 介護保険課認定調査係	※本庁舎・県安曇野庁舎内総務部、政策部は４月１日に移ります。また、穂高支所内、及び穂高健康支援センター内の保健医療部は、一部残ります。
	商工観光部	
三郷支所	政策部の内　情報統計課	
	農林部	
	農業委員会事務局	
堀金支所	総務部の内　危機管理課	
	議会事務局	
教育委員会事務局	教育委員会	
穂高健康支援センター	福祉部	
	保健医療部	

５月７日（木）以降は、各支所に配備されていた本庁業務は新本庁舎へ移行となります。そのため、各支所へ来庁、また電話をお掛けいただいても、今まで通りすぐにご案内をすることが困難となることが予想されますので、ご用のある方は、新本庁舎へ来庁、もしくは電話７１―２０００へお掛けください。

明科支所業務

住民票、戸籍謄本等の発行、所得証明書、納税証明書等の発行、各種支払いを主に行います。各種相談等に関しては、新本庁舎での手続きとなります。また、**支所の宿日直業務が廃止**となりますので、夜間、休日にご用の方は新本庁舎へお願いします。（本庁は、夜間・休日に宿日直が駐在します）

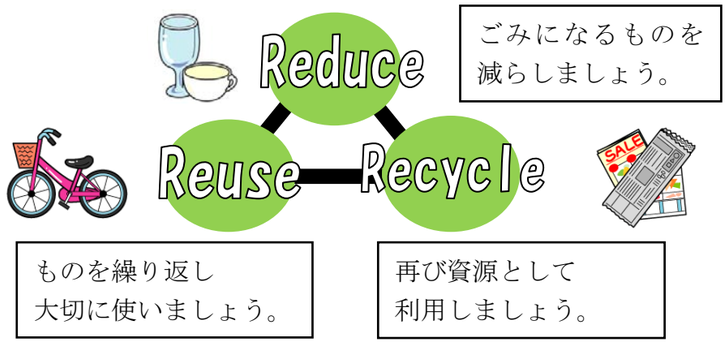
※閉庁日でも明科公民館窓口が開いていますが、
住民票や証明書の発行、届出等の受付はできません。

資源物・ごみ出し方の手引きが改訂されました！

以前の手引きより説明を細かくし、より一層分別の仕方を分かりやすくしました。

安曇野市は、「ごみ減量化の推進」「リサイクル推進」「排出量に応じた公平な負担」を目的として、「もえるごみ指定袋」を購入していただく際に、ごみ処理手数料をご負担いただいています。

ごみを減らせばごみ袋代も節約できます。ご協力をお願いします。



これらの３つのＲをすすめて、ごみの焼却や埋立処分による環境への悪い影響を極力減らし、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会（＝循環型社会）をつくりましょう。

明科いいまちつくろうかい！！

２月のいいまちサロン

健康運動指導士横山みゆきさんによる健康体操を開催しました。横山さんの軽妙な会話とユーモアあふれる指導で、筋トレ、脳トレを行いました。脚をあげるところを手をあげたり、動きが逆になったり、最後は手なのか、脚なのか、わけがわからなくなったりしましたが、参加したみなさん大笑いで、健康体操を楽しんでいました。一日で？十年寿命が延びたことと思います。　！(^^)！

３月のいいまちサロン

福寿草の黄色い可憐な花が咲き始めると春はもう間近。心も春爛漫で快活に過ごしていただくため、今回のサロンは音楽療法を用いた認知症予防講座を開催します。ご参加ください。

日にち：３月31日（火）
時　間：午前10時～正午
場　所：明科公民館　講堂
講　師：杉本　裕子さん
参加費：300円（おはぎ付き）

明科たからばこ⑲

北陸新幹線金沢延伸開業　～ちょっと日帰り～

北陸新幹線が３月14日（土）金沢まで開業しました。今までの長野新幹線が延長し北陸の古都１００万石の金沢まで繋がりました。明科地域からはより身近になり簡単に富山や金沢へ行くことができます。その一例を紹介します。これは半日たっぷりと金沢を堪能し帰ってくることができる日程です。

明科駅から９時20分発「しなの１号」に乗車し、長野駅で10時４分発新幹線「かがやき５０５号」へ乗り換え、金沢駅に11時10分着。明科駅から１時間50分ほどで金沢駅へ。

金沢で午後から兼六園をはじめ東茶屋街や加賀の伝統工房を堪能し、夕方から夜にかけ有名ネオン街の香林坊でほろ酔い、日本海の幸でお腹を満たします。

帰路はふたたび金沢駅から19時39分発上り新幹線「かがやき５１６号」に乗車し、長野駅で20時53分発篠ノ井線普通列車に乗り換え、明科駅に21時55分に着きます。あの遠かった金沢へ簡単に行って帰ることができます。

「Ｅ７系」新幹線は、外観もさながら席などの内装が今までの新幹線車両よりグレードアップしており、乗り心地もさぞ快適となっています。

安曇野からはこの明科駅を利用することで、さまざまな方面へのアクセスが良く、まさしく安曇野の玄関口です。ぜひこの北陸新幹線金沢開業を機に自分なりに計画を立てて、北陸方面やその他各地へ出かけてみてはいかがでしょうか。

明科駅は、安曇野観光の玄関駅で迎え入れることも容易な駅です。利用者がもっと増えれば、「特急しなの」停車数や、電車の本数及び新幹線へのアクセスも増え、便利になることでしょう。

※北陸新幹線撮り下ろし　４ページへ！！

～ご存知ですか？介護保険～

今回、意外と知られていない制度「介護保険」についてご紹介します。

○介護保険ってなに？

・介護保険は平成９年(1997 年)12 月に制定された**「介護保険法」**という法律をもとに平成 12 年４月から開始しました全国一律の制度になります。

・内容は、**「ご高齢の方や病気などによって、一人では日常生活を送れない方に出来得るだけ不自由なく日々を過ごしてもらうために、介護サービスを利用しやすい環境をサポートする」**制度です。

○どうやってサービスを利用するの？

・介護保険のサービスを受けるには、その人にどの位介護サービスが必要かを判断するために**「認定」**を受けていただき、**「要介護度」**を出していただく必要があります。**「認定」**のお申し込みは市役所介護担当窓口にて受け付けています。

○どんなサービスが受けられるの？

・自宅で受けられる家事援助のサービス、施設などに出かけて日帰りで行うデイサービスなどいろいろありますが**「介護度」**の程度によって、受けられるサービスの支給限度額が変わってきます。従って**「介護度」**が出た時にケアマネージャーと呼ばれる方にどんなサービスを受けると良いかの目安になる**「ケアプラン」**を作ってもらい、それを基にサービスを受けていただく形になります。

介護保険サービスの利用をお考えの際は、まずは市役所介護担当へご相談ください。

問い合わせ先

穂高健康支援センター　介護保険課
　認定調査係　電話　81-1622（代）
明科支所　地域課　市民福祉担当
　　電話　62-3001（代）

明科たからばこ番外編

北陸新幹線　撮り下ろし

北陸新幹線はくたか

特急はくたか　ラストラン

編集後記

・春風が吹き始め、それに乗って花粉が飛んできます。花粉症対策に専用メガネを買いたいですが、似合わなくて買えません。いろんな意味でつらい時期となりました。（も）

・今年も野球が始まります。今年は甲子園に何回行けるでしょうか？今年の阪神のスローガンは～Go for the Top as One～球団創立80周年の今年、どんな戦いを見せてくれるのか楽しみです（う）

・いよいよ本年度も終わりを告げようとしています。市役所に入り、右も左もわからなかった私が1年間無事過ごせたのも、地域の皆様の温かい支援のおかげです。本当にありがとうございました。（あ）

・3月は別れの季節。卒業証書を胸に、霞たなびく山あいへ君は振り返らず去って行く・・・そんなことは、はるか昔の話です。（や）

・最近、スマホで品物を買うことが多くなりました。便利ですが、散財の一途を辿っています。（と）

明科いいまち通信は、新しい明科支所と明科公民館の出来事やお知らせのたよりです。
これからも定期的に皆さんにお届けします。